

# がん性疼痛

2011年3月31日 北岡 智子

# がん患者の主要な身体症状

---

- |             |              |         |       |
|-------------|--------------|---------|-------|
| ▶ 全身倦怠感     | 97.6%        | ▶ 死前喘鳴  | 25.2% |
| ▶ 食思不振      | 94.7%        | ▶ 腹水    | 24.3% |
| ▶ <b>痛み</b> | <b>76.7%</b> | ▶ 胸水    | 23.8% |
| ▶ 便秘        | 75.2%        | ▶ 不穩    | 17.5% |
| ▶ 不眠        | 63.1%        | ▶ 腸閉塞   | 16.0% |
| ▶ 呼吸困難      | 51.9%        | ▶ 黄疸    | 16.0% |
| ▶ 嘔気・嘔吐     | 46.1%        | ▶ 吐血・下血 | 6.8%  |
| ▶ せん妄       | 31.6%        | ▶ 嚥下困難  | 5.8%  |

# がん患者における痛みの原因

---

- ▶ がん自体による痛み（浸潤、転移）
- ▶ がん治療による痛み  
（手術瘢痕、放射線・化学療法による口内炎、末梢神経障害など）
- ▶ がんに関連した痛み  
（筋攣縮、リンパ浮腫、便秘、褥そうなど）
- ▶ がんには関連のない痛み  
（筋・筋膜性疼痛、変形性脊椎症、関節炎など）



# 痛みの種類

	痛みの原因		性状	例
侵害受容性	内臓痛	体内の臓器	部位が明確でない痛み 締め付ける・鈍い・重い	肝臓癌 膵臓癌
	体性痛	皮膚・筋肉・骨	部位が限局する鈍い痛み うずく・さしこむ	骨転移
神経因性	神経の損傷によっておこる		① 間欠的：刺される・突き通す・ 電気が走る ② 持続的：うずく・焼ける・ 締め付ける	頭頸部癌 腕神経叢浸潤



# 痛みの評価

---

- ▶ どこが いつから どんなふうに  
原因は何か？  
痛みの種類は？
  
- ▶ どれくらい  
強さは—VAS NRS  
いつ(パターンは)  
日常生活への影響は(睡眠・食事など)



# 痛みの強さ

① Visual Analogue Scale (VAS) (開発者: Maxwell C)



② 0~10の11ポイントのNumeric Rating Scale (NRS)



③ Face Scale



# 痛みの治療の目標

---

- ▶ 第1目標 : 痛みに妨げられない夜間の睡眠の確保
- ▶ 第2目標 : 安静時の痛みの消失
- ▶ 第3目標 : 体動時の痛みの消失



# WHOのがん疼痛治療法の基本原則

---

1) 経口的に

by the mouth

2) 時刻を決めて規則正しく

by the clock

3) 痛みの強さに合わせて

by the ladder

4) 個別の量で

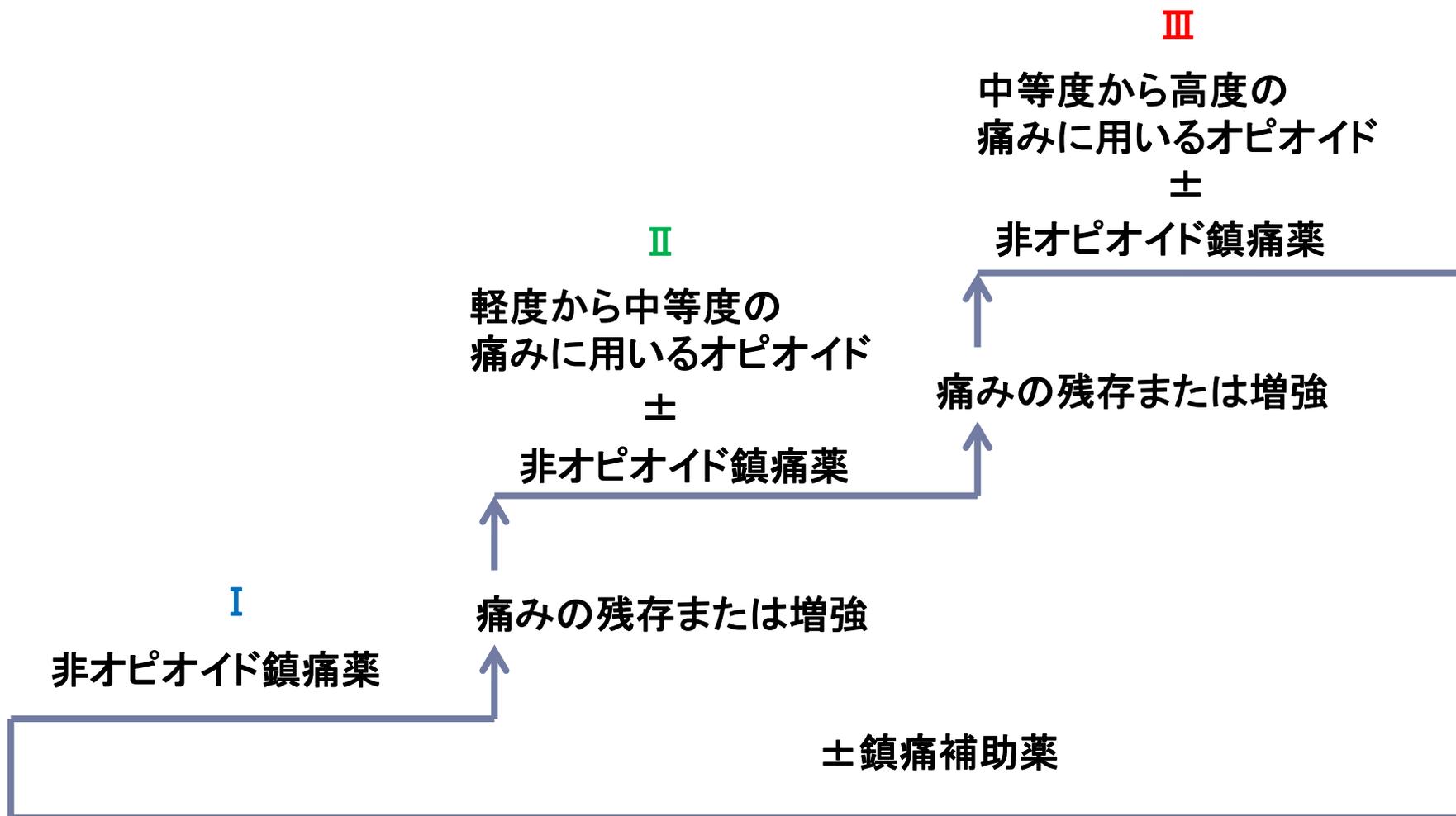
for the individual

5) 細かい配慮を

with attention detail



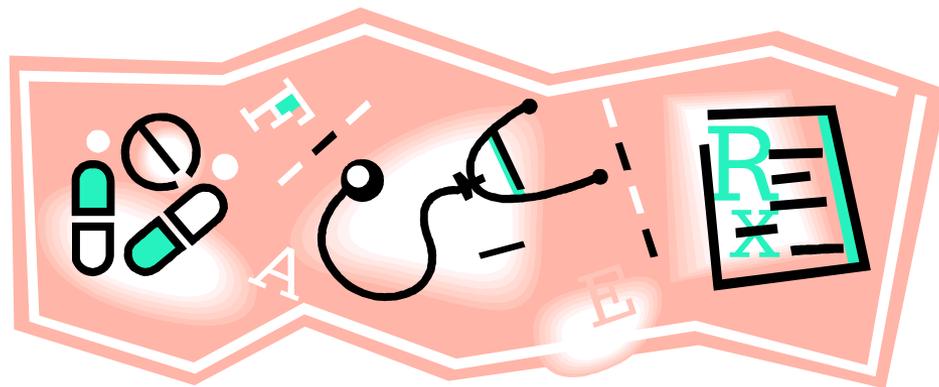
# WHOの3段階除痛ラダー



# モルヒネの副作用

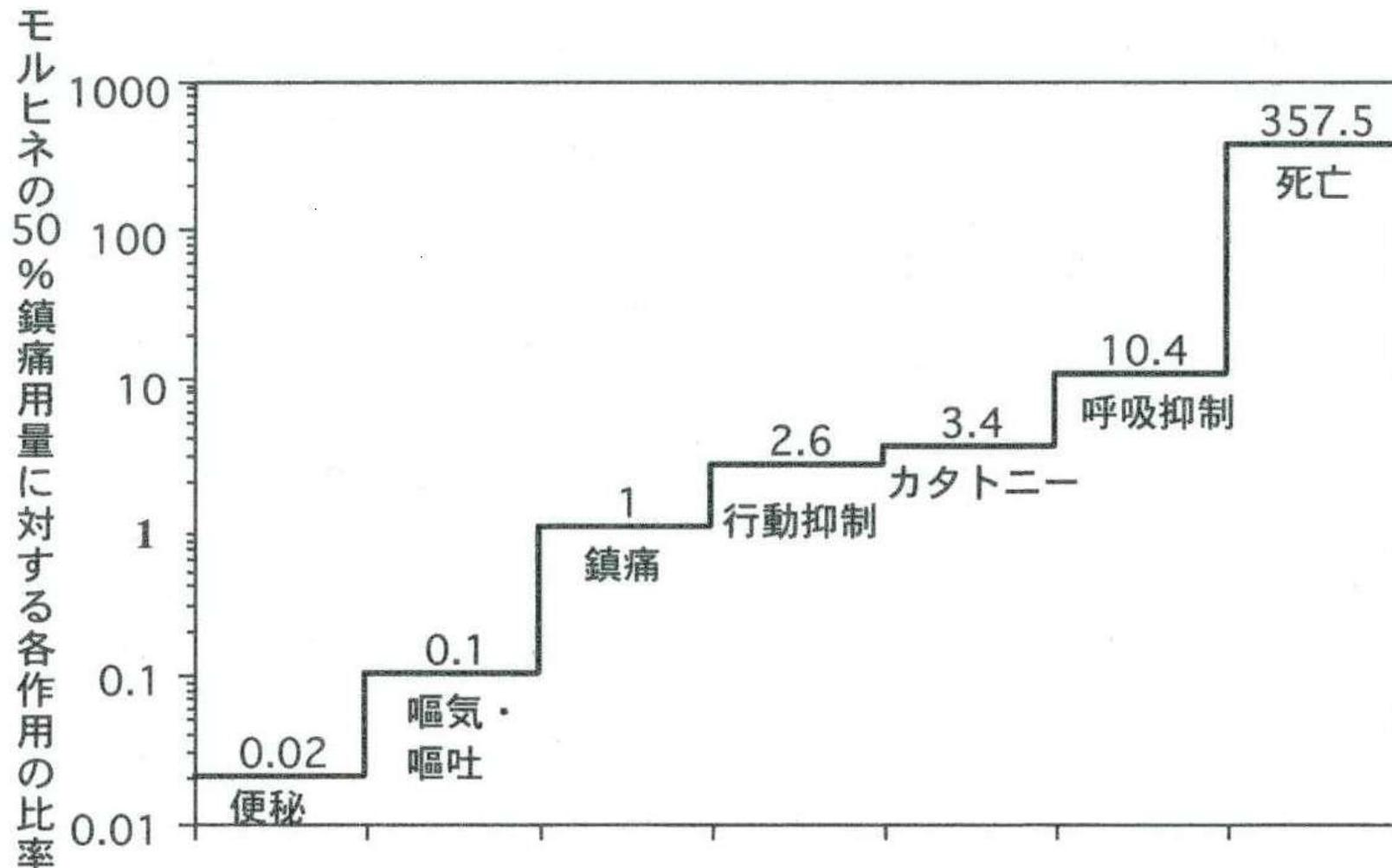
---

- ▶ 便秘
- ▶ 嘔気・嘔吐
- ▶ 眠気
- ▶ せん妄
- ▶ 呼吸抑制

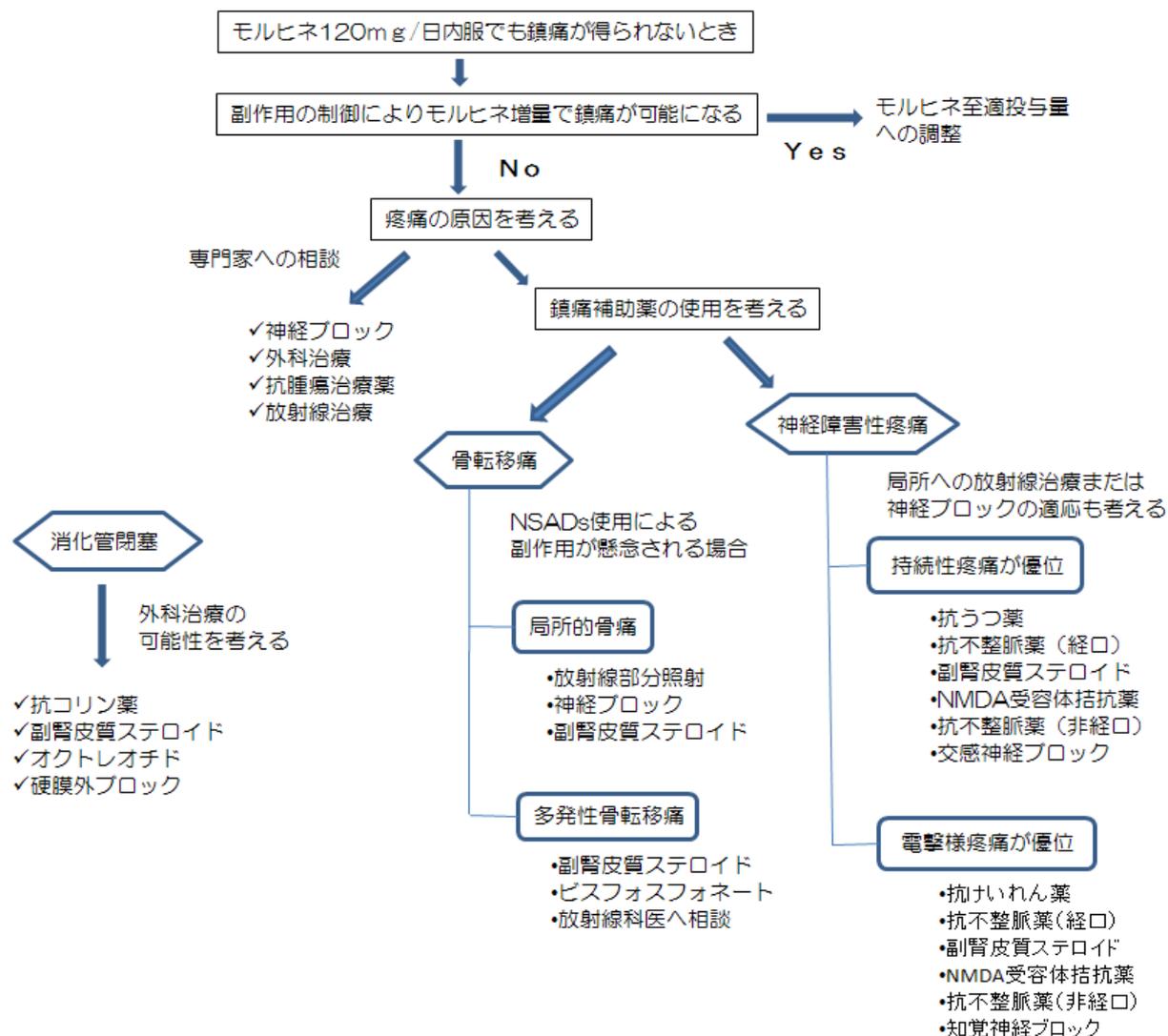


# モルヒネの副作用

(動物実験におけるモルヒネの  
種々の薬理作用におけるED<sub>50</sub>)



# 鎮痛補助薬使用によるがん疼痛治療



# 実際の処方の方法

- ▶ 定期投与薬 + 頓用薬(レスキュー)

非オピオイド鎮痛薬  
徐放製剤



速放製剤

レスキュー



定期投与

↑  
9時

↑  
21時

↑  
9時

- ▶ 副作用対策

制吐剤  
緩下剤

# まとめ

---

- ▶ 痛みを評価する
- ▶ WHOのがん疼痛治療法を理解する

